

# DJI MATRICE 100

## 免責条項および注意事項

V1.6 2017.06



### キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードで検索してトピックを検索します。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を読んでいる場合、Windows であれば Ctrl+F を押し、Mac の場合は Command+F を押して検索を開始します。

### 任意のトピックへの移動

目次にトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックしてそのセクションに進みます。

### 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

## 通知

すべての説明および付随する資料は SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD の判断により変更される対象となります。最新の商品説明は <http://www.dji.com> から DJI™ MATRICE™ 100 の商品ページをクリックしてください。

## 用語集

次の用語はこの商品に関する印刷物に一貫して使われ、この製品を使用するときに発生する可能性のある異なるレベルの危険性を示しています。

- 通知** 通知：正しく従わないと所有物に物理的な損害を引き起こす可能性があり、怪我を引き起こす可能性がほとんどまたはまったくない手順
- 注意** 注意：正しく従わないと所有物に物理的な損害を引き起こす可能性があり、重大なケガを引き起こす可能性がある手順
- 警告** 警告：正しく従わないと所有物への損害、付随する損害、および重大なケガを引き起こす可能性があり、また外傷を引き起こす可能性が高い手順



### 警告

操縦する前にユーザーマニュアルのすべてに目を通し、製品の特長を把握してください。この製品の操縦を正しく行わないとこの製品または所有物に損害をあたえ、また重大な怪我を引き起こすことがあります。この製品は注意力、常識、および基本的な機械の理解が必要となります。この製品を安全に、そして責任のある方法で操縦できない場合、製品やそのほかの所有物への怪我や損害の原因となります。大人の監視下には子供はこの製品を操縦しないでください。この製品に互換性のない部品を使用しないでください。また、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD が提供する資料に書かれている以外の内容を製品に適用しないでください。これら注意事項は安全性、操縦、およびメンテナンスに関する内容を含んでいます。この製品を正しく使用し、深刻な怪我を避けるために、組立、セットアップ、または使用する前に、ユーザーマニュアルにあるすべての説明および警告を必ず読んでください。

年齢制限：18 歳未満。この製品はおもちゃではありません。

## フライト前のチェックリスト

- 純正パーツのみを使用し、すべてのパーツが新品同様であることを確認して下さい。
- リモートコントローラー、インテリジェントフライトバッテリー、およびモバイル単減がすべてフル充電であることを確認してください。
- モーターにプロペラがしっかりと取り付けられ、かつモーターが始動し正常に機能することを確認してください。
- コンパスをキャリブレーションするためにスクリーンのイントロダクションに従ってください。
- DJI GO™ アプリおよび機体のファームウェアが最新のバージョンにアップグレードされていることを確認して下さい。
- 飛行禁止区域の外でフライトを行い、フライト条件が適切であることを確認してください。
- アルコール、麻薬、またはあなたの認識能力に悪影響を与える物質の影響下にはないことを確認して下さい。
- 選択したフライトモードに詳しくなり、すべての安全機能および警告を理解してください。
- フライトを行う地域のすべての法令を理解し、必要な許可を得てフライトを行ってください。またリスクを十分理解してください。注意：すべての飛行規制に従う事はすべてあなた個人の責任です。

# コンテンツ

通知	1
用語集	1
フライト前のチェックリスト	1
免責事項および警告	3
準拠情報	5
はじめる前に	7
個別パーツ	7
純正および機能するパーツについて	7
送信機	7
フライトコントローラー	8
センターフレーム	8
バッテリーコンポーネント	8
GPS モジュール	8
コンパス	9
プロペラシステム	9
カメラ	10
ジンバル	10
DJI GO アプリ	11
ファームウェア	11
製品のケア	13
保存および移動	13
メンテナンス	13
フライトコンディション	14
天候および環境	14
フライトコントローラーおよび通信の干渉	14
責任を持って機体を操縦する	14
フライトモード、機能、および警告	16
フライトモード	16
フェイルセーフおよびリターントゥーホーム	16
ローバッテリー	17
規制や飛行禁止区域に対するコンプライアンス	18
規制	18
飛行禁止区域	18
サポートポリシー	20

## 免責事項および警告

本製品は玩具ではありません。また、18歳未満を対象としていません。DJI Matrice 100 は子供の手の届かない場所に保管してください。また、子供がいるところで機体进行操作する場合は、十分に注意してください。

製品には先進技術が採用されていますが、製品の不適切な使用により、けがや物的損害を引き起こすおそれがあります。製品を使用する前に、製品に関連する資料をお読みください。これらの文書は製品パッケージに含まれますが、オンラインの DJI 製品ページ (<http://www.dji.com>) でも入手できます。

本製品は、以下のように正常に操作できる状態であれば、簡単に飛行させることができるマルチコプター飛行プラットフォームです。最新の注意事項と警告については、<http://www.dji.com> をご覧ください。安全な飛行と法令順守の詳細については、<http://knowbeforeyoufly.org/> をご覧ください。

本書では、ユーザーの安全と法的権利と責任に関する情報を取り扱っています。ご使用の前に、この文書のすべての内容をよくお読み頂き、確実に適切な設定ができるようにしてください。本書の手順と警告を正しく理解して実行しない場合、本製品の損失、ユーザーの重傷、機体の損傷を招くおそれがあります。

本製品を使用すると、本書の免責事項をよく読み、記載される条件を理解し、これを順守することに同意したとみなされます。DJI アフターセールス・サービス・ポリシー (<http://www.dji.com/service>) に明示的な規定がない限り、製品およびすべての資料、製品を通して得られるコンテンツは「現状のまま」および「提供されているまま」で提供され、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も条件も伴いません。明示、黙示を問わず、DJI アフターセールス・サービス・ポリシーに明示的に規定がない限り、製品、製品アクセサリ、すべての資料に関し、DJI は以下を含む、いかなる種類の保証も一切行いません。(A) 商品性、特定目的の適切性、権限、平和享有権、非侵害に対する黙示的保証、および (B) 取引の過程、使用、商習慣から生ずる保証。DJI 限定保証に明示的な規定がない限り、製品、製品アクセサリ、製品の一部、資料が、中断のないこと、安全で、エラー、ウイルス、その他有害なコンポーネントがないことを DJI は保証しません。また、それらの問題の修正も保証しません。

本規約に明示的な記載がない限り、口頭であれ書面であれ、製品、製品アクセサリ、資料から得られる助言や情報により、DJI または製品に関する保証は発生しません。製品、製品アクセサリ、資料の使用またはアクセスに起因するあらゆる損害に対するすべてのリスクは、すべてお客様が負うものとします。お客様の裁量とリスクにおいて本製品を使用し、けが、死亡、お客様の財産への損害（本製品と接続して使用したコンピュータシステム、モバイルデバイス、DJI ハードウェアを含む）、第三者の財産への損害、本製品使用による、あるいは使用不能によるデータの損失に対して、お客様が単独で責任を負うことについてお客様は理解し、合意するものとします。

保証の免責を認めていない司法管轄区もあり、司法管轄区によっては別の権利を有する場合もあります。

DJI は、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. (略して「DJI」) およびその関連会社の商標です。本書に記載されている製品、ブランドなどの名称は、その所有者である各社の商標または登録商標です。

## 責任限定

DJI エンティティは、本製品あるいは何らかのマテリアル、飛行環境データ、本製品の内容へのアクセスまたは使用に関連し、もしくはアクセスまたは使用不可に起因したまたはこれに関連して生じる間接的、偶発的、特別、必然的、懲罰的損害（利益、信用、その他の無形資産の損失を含みます）について、保証、契約、不法行為（過失も含む）、法令、その他の法理論に基づくものでも、DJI エンティティがその損害リスクについて通知を受けていたか否かに関わらず、一切の法的責任を負いません。

本製品の一部の利用または利用不可に起因したまたはこれに関連して生じたあらゆるクレームまたはその他諸条件の下で、DJI エンティティが負う負債総額は、契約の記述、不法行為その他の有無に関わらず、\$ 100 を限度額とします。

DJI およびお客様間の本製品に関わる合意が、日本の消費者契約法下の消費者契約とみなされる場合、DJI による重過失もしくは故意の不法行為が発生した場合、免責の制限は適用されません。

法域によっては、派生的または付随的な損害に対する責任の免除あるいは限定が認められています。したがって、上記の免責範囲は適用されない場合があります。

責任制限、保証の否認、あるいは損害の免責を規定している諸条件の各条項は、諸条件下の当事者間で生じるリスクを対象とし、各当事者に配分するものです。この配分は当事者間の取引や交渉の重要な基本要素になります。これらの条項は、諸条件のその他すべての条項から分離可能かつ独立しています。本第 17 項の制限は、いかなる限定的救済策が本質的目的を果たせない場合であっても適用されます。

## データの保管と使用法

当社のモバイルアプリ、製品、その他のソフトウェアの使用、フライトテレメトリデータ（速度、高度、バッテリー寿命、ジンバルとカメラに関する情報）や操作記録など、製品の使用と操作に関するデータを DJI に提供することができます。詳細については、DJI のプライバシーポリシー ([dji.com/policy](http://dji.com/policy)) に掲載) を参照してください。

DJI は、この免責事項及び注意事項を更新する権利を留保します。<http://www.dji.com> やメールを定期的にチェックして最新の情報をご確認ください。また、この免責事項は様々な言語向けに作成されていますが、内容の相違が発生した場合には英語版を優先するものとします。

## 準拠情報

### FCC 警告メッセージ

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

### 高周波 (RF) 暴露情報

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20cm during normal operation.

### IC RSS 警告

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard (s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

#### IC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with IC RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### NCC 警告メッセージ

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

## KCC 警告メッセージ

해당무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.”  
“해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음”

## EU 準抛声明

**EU Compliance Statement:** SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of the Directive 2014/53/EU. A copy of the EU Declaration of Conformity is available online at [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
EU contact address: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**Declaración de cumplimiento UE:** SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. por la presente declara que este dispositivo cumple los requisitos básicos y el resto de provisiones relevantes de la Directiva 2014/53/EU. Hay disponible online una copia de la Declaración de conformidad UE en [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
Dirección de contacto de la UE: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**EU-verklaring van overeenstemming:** SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. verklaart hierbij dat dit apparaat voldoet aan de essentiële vereisten en andere relevante bepalingen van Richtlijn 2014/53/EU. De EU-verklaring van overeenstemming is online beschikbaar op [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
Contactadres EU: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**Declaração de conformidade da UE:** A SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. declara, através deste documento, que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes da Diretiva 2014/53/EU.  
Existe uma cópia da Declaração de conformidade da UE disponível online em [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
Endereço de contacto na UE: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**Dichiarazione di conformità UE:** SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. dichiara che il presente dispositivo è conforme ai requisiti essenziali e alle altre disposizioni rilevanti della direttiva 2014/53/EU.  
Una copia della dichiarazione di conformità UE è disponibile online all'indirizzo Web [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
Indirizzo di contatto UE: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**Déclaration de conformité UE:** Par la présente, SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD déclare que cet appareil est conforme aux principales exigences et autres clauses pertinentes de la directive européenne 2014/53/EU. Une copie de la déclaration de conformité UE est disponible sur le site [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance)  
Adresse de contact pour l'UE : DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany

**EU-Compliance:** Hiermit erklärt SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD., dass dieses Gerät den wesentlichen Anforderungen und anderen einschlägigen Bestimmungen der EU-Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Eine Kopie der EU-Konformitätserklärung finden Sie online auf [www.dji.com/euro-compliance](http://www.dji.com/euro-compliance).  
Kontaktadresse innerhalb der EU: DJI GmbH, Industriestrasse. 12, 97618, Niederlauer, Germany



CAUTION: RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS

### Environmentally friendly disposal



Old electrical appliances must not be disposed of together with the residual waste, but have to be disposed of separately. The disposal at the communal collecting point via private persons is for free. The owner of old appliances is responsible to bring the appliances to these collecting points or to similar collection points. With this little personal effort, you contribute to recycle valuable raw materials and the treatment of toxic substances.



## はじめる前に

次の資料は安全な運用および DJI Matrice 100 を最大限に活用していただくために作成されました。

DJI Matrice 100 セット内容

DJI Matrice 100 免責条項および注意事項

DJI Matrice 100 バッテリーガイドライン

DJI Matrice 100 ユーザーマニュアル

DJI Matrice 100 セット内容にリストアップされている部品が全てそろっていることを確認し、DJI Matrice 100 免責条項および注意事項を読んでください。DJI Matrice 100 ユーザーマニュアルとビデオチュートリアルを使って、機体を組み立てて下さい。より詳しい情報は DJI ウェブサイト (<http://www.dji.com>) に掲載されている DJI Matrice 100 ユーザーマニュアルを参照してください。飛行する前に、個々のパーツの機能、要求されるフライト条件、重要な緊急事態警告機能／システム、およびすべての法令を十分に理解してください。製品の組立、メンテナンスまたは製品の使用に関する質問は DJI または DJI 正規代理店にお問い合わせください。

## 個別パーツ

### 純正および機能するパーツについて

#### 警告

部品の故障、ケガ、および破損を避けるために次のルールを確認してください。

1. DJI 純正パーツまたは DJI 認定パーツをご使用ください。DJI が許可していないパーツまたは DJI が認定していない製造者によるパーツをご使用になると、システムの機能不全や安全性を損ねる可能性があります。
2. 機体または部品に外部物質（水、油、土、砂など）が混入していないことを確認してください。
3. 機体や送信機、GPS モジュール、コンパス、プロペラシステム、およびバッテリーなどの部品が正常に機能し、傷や汚れがないことを確認してください。部品の正しい使い方についてこの資料に詳しい記載がありますので参照してください。

### 送信機

#### 通知

1. フライトの前に送信機が十分に充電されていることを確認してください。
2. 送信機の電源がオンになり、5 分間使用されなかった場合、送信機は警告音を発します。10 分後に自動的に電源がオフになります。スティックを動かす、または何かほかのアクションを実行して警告音を解除してください。
3. モバイル端末をしっかりと固定する為にモバイル端末ホルダーのクランプを調節して下さい。
4. モバイル端末ホルダーがしっかりと取り付けられ、ずれていないことを確認してください。
5. 送信機のアンテナがたたまれておらず、最高の転送クオリティを発揮するように調整されていることを確認して下さい。
6. 破損した場合、送信機を修理または交換してください。破損した送信機はその性能を大きく損ないます。

7. 送信機内部の GPS を正しく機能させ、ダイナミックホームポイント機能を正確に保つために、送信機の DJI ロゴが上を向いており、送信機を金属から遠ざけていることを確認して下さい。
8. 送信機または受信機を交換する場合、または新しい送信機を追加する場合、リンキングが必要となります。詳細はユーザーマニュアルをご確認ください。

## フライトコントローラー

### 警告

部品の機能不全、ケガ、および破損を防ぐために次のルールを守ってください。

1. フライトコントローラーの構造を変更しないでください。
2. フライトコントローラーの冷却ファンが正常に機能していることを確認してください。そうでない場合は直ぐに修理してください。
3. 冷却ファンをきれいに保ち、異物などが入らないようにしてください。
4. 回転している冷却ファンを触らないでください。

## センターフレーム

### 警告

部品の機能不全、ケガ、および破損を防ぐために次のルールを守ってください。

1. センターフレームの予約ポートをショートさせないでください。
2. 予約ポートの説明に正しくしたがってあなたが使うデバイスを接続して下さい。

## バッテリーコンポーネント

### 警告

部品の機能不全、ケガ、および破損を防ぐために次のルールを守ってください。

1. DJI 製以外のバッテリーを使用しないでください。
2. バッテリーコンポーネントの構造を変更しないでください。

## GPS モジュール

### 警告

部品の機能不全、ケガ、および破損を防ぐために次のルールを守ってください。

1. フライトの前に GPS モジュールが折りたたまれていないことを確認してください。
2. GPS モジュールがしっかりと取り付けられ、矢印が機体の機首方向を指していること確認してください。

### 通知

1. GPS モジュールを折りたたむ際に指を挟まないよう気を付けて下さい。
2. 延長ロッドを使用して GPS モジュールを機体から離してください。

## コンパス

### 注意

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

1. 機体が直線的に飛行せず、ドリフトする場合、すぐに機体を着陸させて下さい。

### 通知

1. フライトの前にコンパスのキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションに失敗するとフライトパフォーマンスの低下や墜落の原因となります。
2. 強い磁気の影響がある場所でキャリブレーションを行わないでください。大量の金属がある場所、立体駐車場、鉄筋性の地下設備、または橋の下などです。
3. 鍵や携帯電話など強磁性の物質をキャリブレーションの最中に近づけないでください。
4. 屋内から屋外へ移動する際は必ずキャリブレーションを行ってください。
5. LED が赤く点灯しているとき、コンパスキャリブレーションに失敗しています。もう一度キャリブレーションを行ってください。
6. キャリブレーションを正しく行った後、機体を地面に置いた際にコンパスに異常が生じる場合があります。これは地下の磁気干渉によるものです。機体を他の場所に移動してもう一度試してください。
7. 次の場合に、再度キャリブレーションを行う必要があります。
  - a. コンパスデータに異常があり、機体ステータスインジケーターは赤と黄色に点滅している場合。
  - b. 新しい場所でフライトする場合、または前回のフライトと異なる場所でフライトする場合。
  - c. 機体の機械的構造が変更された場合。例えばコンパスの設置場所が変わった場合。
  - d. 機体がドリフトする場合。例えば、機体がまっすぐに飛行しないなど。

## プロペラシステム

### 警告

回転しているプロペラおよびモーターによるケガを避けるために、次のルールを守ってください。

#### プロペラ

1. 古い、欠けている、または壊れているプロペラを使用しないでください。
2. プロペラに触れる場合、常に機体の電源をオフにしてください。
3. プロペラを取り付けおよび取り外しする場合、プロペラの鋭い先端に気を付けて下さい。プロペラを触るときはグローブなどを使用してください。
4. 必要な場合、レンチ、ドライバー、ペンチなどの道具を使ってプロペラを取り付けまたは取り外ししてください。
5. モーターから外れないようにプロペラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
6. 直ぐ近くに人や動物がいるとき、モーターをオンにしないでください。

#### モーター

1. モーターがしっかりと取り付けられ、スムーズに回転していることを確認してください。

2. モーターの構造を変更しないでください。
3. とても熱くなっているので、フライト後にモーターに触ったり、体を近づけたりしないでください。

#### 注意

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

1. モーターの通気穴をふさがないでください。

#### 通知

モーター

1. モーターにホコリやチリが入らないようにしてください。
2. モーターが止まったり回転しなくなったりした場合、CSC（コンビネーションスティックコマンド）を実行してモーターをただちに停止してください。

エレクトリックスピードコントローラー（ESC）

1. ESC が異常な音を出していないか確認してください。

## カメラ

#### 警告

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

1. ケガやデバイスの故障につながるため、カメラの通風穴をふさがないでください。

#### 通知

1. カメラをお好みの設定に変更して下さい。
2. 重要は写真や動画を撮影する前に、必ずテストを行ってください。
3. 電源を入れた後で micro-SD カードを取り外さないでください。
4. バッテリーが切れている状態で写真や動画の転送を行う事はできません。
5. 正しくバッテリー電源をオフにしてください。さもないとカメラパラメーターが正しく保存されず、記録された動画が破損する可能性があります。注意：DJI は機械的に読み込みができない写真や動画に対して一切責任をおいせん。

## ジンバル

#### 通知

1. ジンバル内部の精密機器が衝突や衝撃により損傷し、ジンバル機能の異常を引き起こすことがあります。
2. ジンバルの電源をオンにした後、ジンバルに外部からの力をかけないでください。
3. ジンバルの機能不全またはジンバル内部のモーターにダメージをあたえるため、ジンバルにペイロードを加えないでください。
4. ジンバルを取り付けたり取り外したりする場合、落とさないようにしっかりと持ってください。

## DJI GO アプリ

### 通 知

1. DJI GO アプリを立ち上げる前に、お使いのタブレットやモバイル端末がフル充電状態になっていることを確認して下さい。タブレットをご使用になることをお勧めします。
2. スマートフォンをご使用の際は、電話を受けてもフライトを継続するようにしてください。
3. すべての安全ヒント、警告メッセージ、および免責条項を読んでください。ご使用になる場所の規制について理解してください。すべての関連する規制やそれにしたがうことはユーザー個人の責任です。
  - a. 自動離陸および着陸機能を使用するまえに警告メッセージを読んでください。
  - b. ホームポイントを再設定する際、警告メッセージを読んでください。
  - c. 高度を初期設定の値を超えて設定する場合、警告メッセージおよび免責条項を読んでください。
  - d. フライトモードを切り替えるとき、警告メッセージおよび免責事項を読んでください。
4. アプリにアラートが出た場合、すぐに機体を着陸させてください。
5. フライトの前にアプリに表示されているチェックリストの警告メッセージを検査およびチェックしてください。
6. 機体を一度も操縦したことがない、また機体の操縦に自信がない場合は、アプリの中にあるシミュレーターを使って練習してください。
7. DJI GO アプリは初期設定でビギナーモードになっています。ビギナーモードでは機体の高度と飛行距離が制限されています。DJI はあなたのフライト技術が向上するまでビギナーモードで練習することをおすすめします。十分なフライト技術を獲得してから実際の機体でフライトすることをお勧めします。
8. フライトのまえにインターネットに接続しあなたがフライトを行う予定の場所の地図をキャッシュしてください。

## ファームウェア

### ⚠ 警告

子供や動物にケガを負わせないために、次のルールを守ってください。

1. ファームウェアのアップグレード、システムのキャリブレーション、およびパラメーター設定の際は子供や動物を近づけないでください。

### 通 知

1. 安全上の理由から、DJI GO アプリにアップグレードの通知がでたら、常に最新のファームウェアにアップグレードしてください。
2. ファームウェアアップグレードに関する通知がでたらすぐにすぐにアップデートを行うか3日以内にアップデートを行ってください。最新のファームウェアへのアップデートを無視する場合、表示される免責条項に同意しなければなりません。フライト遠隔操作データおよびユーザー選択記録はDJIが指定するサーバーに保管されることがあることを理解のうえ同意します。

3. DJI 公認ファームウェアのみを使用してください。アップグレードする前にファームウェアパッケージが DJI ウェブサイト (<http://www.dji.com>) からダウンロードされていることを確認してください。
4. 機体をアップデートしたあと、リモートコントローラーファームウェアを最新の状態に保ってください。
5. アップデートのあと、送信機が機体とリンクしないことがあります。送信機と機体を再度リンクしてください。
6. ファームウェアのアップデートを実行する前に全ての接続を確認し、全てのプロペラを取り外してください。
7. お使いの SD カードにファームウェアパッケージバックが 1 つだけ保存されている事を確認してください。
8. FAT32 および exFAT ファイルシステムにフォーマットされている記憶デバイスのみ機体のアップデートでサポートされます。

# 製品のケア

## 保存および移動

### 警告

子供や動物にケガを負わせないために、次のルールを守ってください。

1. ケーブルやストラップなどの小さなパーツは飲み込むと危険です。全てのパーツはお子様や動物の手の届かない場所に保管してください。
2. 移動の際はバッテリーを取り外してください。
3. 移動や長期保管の際はジンバルを機体から取り外してください。

### 通知

1. バッテリーおよびリモートコントローラーを直射日光からさけ、涼しく、乾燥した場所で保管し、内蔵の LiPo バッテリーが過熱状態にならないようにしてください。推奨保管温度は3ヶ月以上の保管の場合 22～28℃です。-20～45℃以外の温度範囲で保管しないでください。
2. カメラを水やその他の液体に接触させたり、浸したりしないでください。カメラが濡れた場合、乾いた柔らかい、吸収性のある布でふいてください。水の中に落ちたカメラの電源を入れると永久的な故障の原因となることがあります。カメラを掃除またはメンテナンスするために、アルコール、ベンゼン、シンナーまたはその他の揮発性物質を含む物質を使用しないでください。カメラを湿度の高い、埃っぽい場所で保管しないでください。
3. パージョン 2.0 より古い USB インターフェイスにこの製品を接続しないでください。この製品を「パワー USB」またはそれに似たデバイスに接続しないでください。

## メンテナンス

### 通知

1. 墜落や強い衝撃を受けた後は必ず機体の全てのパーツをチェックしてください。質問や問題がある場合は DJI 正規販売店にお問い合わせください。
2. 現在のバッテリーレベルおよびバッテリー寿命を確認するために、バッテリーレベルインジケーターを定期的にチェックしてください。バッテリーライフが 0% になった場合、使用する事が出来ません。

# フライトコンディション

## 天候および環境

### 警告

機体は穏やかな天候で操縦するように設計されています。墜落、ケガ、および破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

1. 風速 10m/ 秒、雪、雨、霧、強風、雹、雷、竜巻、または台風などの、厳しい天候で機体を使用しないでください。
2. 機体を障害物、人、動物、建物、公共インフラ、樹木、および水から少なくとも 10 メートル (30 フィート) 離してください。高度を上げる場合は上記の物体から機体をさらに遠ざけて下さい。
3. 機体を屋内でフライトさせる場合は、さらに注意を払ってください。

### 通 知

1. 機体およびバッテリーの性能は気圧や気温によって左右されます。
  - a. 海拔 4,500 メートル (14,700 フィート) 以上の場所でフライトする場合、機体とバッテリーの性能が低下します。
2. 機体を事故、火災、爆破、洪水、津波、雪崩、地滑り、地震、埃、または砂嵐などに近づけないでください。

## フライトコントローラーおよび通信の干渉

### 通 知

1. 開けた場所でフライトしてください。高いビルや街路構造物がコンパスの正確性を損ない、GPS シグナルをブロックする事があります。
2. リモートコントローラーと他のワイアレスデバイスの干渉を避けてください。モバイルデバイスの WiFi をオフにしてください。
3. 磁気や電波干渉がある場所の近くをフライトしないでください。これらの場所は、高圧電線、大規模変圧設備または携帯基地局、および電波塔などです。これらの場所でフライトすると、この製品の伝送品質の低下または送信機の停止、およびビデオ伝送エラーを引き起こす事があります。機体は異常なふるまいを見せ、コントロール不能になることがあります。

## 責任を持って機体を操縦する

### 警告

ケガや破損を避けるために、次のルールを守ってください。

1. アルコール、薬物、麻酔などの影響下になく、めまい、疲労、吐き気、またはその他の状況、例えば肉体または精神にかかわらず、機体を安全に操縦することができない状態にある場合、フライトを行わないでください。
2. 機体が空中にあるとき、コンビネーションスティックコマンド入力しないでください。さもないと、空中でモーターが停止します。
3. 着陸後、機体の電源を先にオフにし、次にリモートコントローラーの電源をオフにしてください。



4. ケガや破損につながるため、危険なペイロードを建物、人、または動物などに、落下、発射、点火、または投影しないでください。

#### **通 知**

1. 事故を起こすまえに、十分に練習を積み、万が一の場合に備えてしっかりと計画をたててください。
2. フライトプランをもち、無計画なフライトを行わないようにしてください。
3. カメラを使用する際は、他人のプライバシーを尊重してください。現地のプライバシーに関する法律、規制、およびモラル基準にしたがってください。
4. この製品を個人的な目的以外に使用しないでください。この製品を違法または不適切な目的で使用しないでください。（例えば、スパイ活動、軍事作戦、または許可されていない調査など）
5. この製品を中傷、虐待、嫌がらせ、ストーキング、脅迫、またはその他の法的権利（例えば、プライバシーや広告など）を侵害する目的で使用しないでください。
6. 他人の私有地に不法侵入しないでください。

# フライトモード、機能、および警告

## フライトモード

### 警告

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

1. GPS 無効の状態では機体を安全に着陸させることが出来ないので、各フライトモードに慣れるまでは、P モードから A モードまたは F モードに変更しないでください。

### 通知

P モードはもっとも一般的なフライトシナリオです。P モードが無効の場合、A モードに切り替えることができます。A モードではいくつかの機能が無効です。そのため、A モードでフライトする際は注意が必要です。

1. P モード（ポジショニング）：GPS シグナルが強いとき、P モードが最も適しています。P モードには 2 つのステータスがあり、DJI Matrice 100 が GPS シグナルの強さに応じて自動的に選択します。
  - a. P-GPS：GPS が有効で、機体は GPS をポジショニングのために使用する。
  - b. P-ATTI：GPS が無効のとき、機体のバロメーターのみを使用するので、高度のみコントロールすることができます。
2. A モード（姿勢）：GPS はポジショニングのために使用されません。機体のバロメーターのみを使用するので、高度のみコントロールすることができます。もし GPS シグナルを受信できる状態にあるとき、送信機シグナルを失いホームポイントが正しく記録されている場合、自動的にホームに帰還します。
3. F モード（機能）：このモードではインテリジェントオリエンテーションコントロール（IOC）が有効です。ご使用になる前に、IOC 機能について十分理解してください。

GPS アシストを解除するモードに切り替える場合、機能を有効にするために免責条項の画面に同意する必要があります。この機能が有効になった場合、フライト遠隔操作データおよび機能記録が DJI 指定のサーバーにアップロードされ保管されることを理解の上同意してください。

## フェイルセーフおよびリターントゥーホーム

### 通知

1. GPS シグナルが十分ではない、または GPS が有効ではない場合、リターントゥーホーム機能は有効にはなりません。
2. 送信機の電源をオフにするかわりに、送信機の RTH（リターントゥーホーム）ボタンを押して、機体をホームポイントに帰還させてください。
3. 高層ビルはフェイルセーフ機能に悪影響を及ぼします。機体を帰還させる際は、機体が障害物と衝突しないように、機体の場所や高度を調整してください。
4. 機体を送信機の伝送範囲内で使用してください。
5. ホームポイントを更新するとき、リモートコントローラーの GPS シグナルを遮断しないでください。また、新しいホームポイントがライブマップ上に正しく表示されていることを確認してください。

6. フェイルセーフおよびリターントゥーホーム機能は緊急事態の時に使用してください。
7. GPS が遮断され、正確ではない位置情報を記憶してしまう可能性があるため、高層ビルの近くでホームポイントを更新しないでください。
8. 機体はフェイルセーフ RTH の間、障害物を避ける事ができません。そのため、適切な高度を設定することはとても重要です。
9. ダイナミックホームポイントは離陸時と異なるホームポイントに着陸させるときに便利です。

## ローバッテリー

### 通知

1. 致命的なローバッテリーレベル警告が有効になった場合、機体は自動的に降下します。スロットルを使って機体の高度を調節し、より適切な場所へ着陸するように誘導する事ができます。
2. バッテリー警告が発動されたとき、機体をすばやくホームポイントに戻してください。またはフライト中の電力消耗や機体、人や動物へのダメージを避けるために着陸させてください。

# 規制や飛行禁止区域に対するコンプライアンス

## 規制

### ⚠ 警告

コンプライアンスに反する行為、ケガ、破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

1. 高度にかかわらず、有人飛行機の付近で操縦しないでください。（必要な場合はすぐに着陸させてください）
2. 都市部、スポーツイベント、展示会、パフォーマンスなど、人口密集地でのフライトは避けて下さい。
3. 許可された以上の高度をフライトしないでください。有人飛行機の操縦を妨げない様に注意して下さい。つねに他の機体や障害物を避けるようにしてください。

### 注意

コンプライアンスに反する行為、ケガ、破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

1. の法律や規制で定められる飛行禁止区域の近くや区域内をフライトしないでください。飛行禁止区域は空港、国境、主要都市、など継続的に更新されます。
2. 許可された高度を超えてフライトしないでください。
3. 機体を visual line of sight (VLOS : 見通し) に保ち、必要であれば観客役をつけてください。
4. 機体を違法物または危険物の運搬に使用しないでください。

### 通知

1. フライトの目的や種類（娯楽、公共、商用など）を理解し、フライト前に該当する政府機関から許可や認可を得てください。詳細は現地の取締機関に相談してください。アメリカ合衆国でフライトを行う場合、<http://www.knowbeforeyoufly.org/> を訪れ、あなたの現状にそったアクションをとってください。
2. 遠隔操作する機体を商業用に使用することが禁止されている国や地域があります。事前に現地のすべての法律および法令を確認し、それらにしたがうようにしてください。
3. 発電所、水処理施設、刑務所、交通量の多い道路、政府施設、軍事施設などの周辺を飛行しないでください。
4. カメラを使用する際は、他の人のプライバシーを尊重してください。たとえ個人的に使用するためであっても、許可なく個人、団体、イベント、パフォーマンス、展示会、および私有財産の監視のために使用しないでください。
5. たとえ個人的に使用するためであっても、カメラによるイベント、パフォーマンス、展示会、または商業施設の撮影は著作権やその他の法的権利を侵害することがあります。

## 飛行禁止区域

### 通知

DJIは常に安全なフライトを目指しています。そのため、ユーザーが現地のルールや規制を守ってフライトできるよう様々な援助を行っています。次の機能を最新版にアップデートするために、ファームウェアを常に最新バージョンにしてください。

## 飛行禁止区域

1. 飛行禁止区域は世界の主要空港周辺、国境、主要都市などです。
2. 飛行禁止区域の完全なリストは DJI ウェブサイト <http://flysafe.dji.com/no-fly> から確認することができます。飛行禁止区域は規制の新設に伴い、事前の通知なしに更新されます。
3. 飛行禁止区域はいくつかのゾーンに分類することができます。それぞれのゾーンは禁止区域を示す円の大きさが異なります。飛行禁止区域の中で機体を離陸させることはできません。また、ゾーンに近づく場合、機体をある一定の高度まで降下させなくてはなりません。グランドステーション機能は機体が飛行禁止ゾーンの中に入ったとき、使用することができません。
4. ユーザーは飛行禁止区域を機体の中間地点として設定する事ができません。

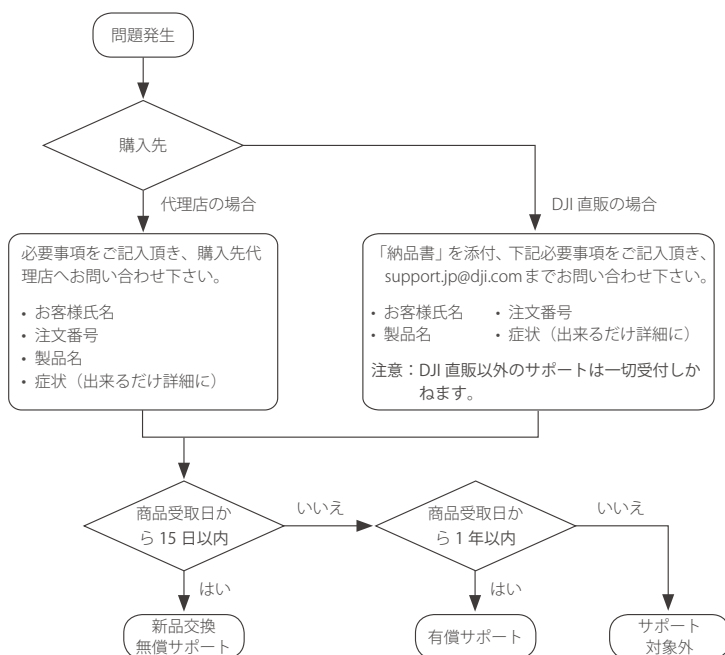
## 高度制限

1. 地上 120 メートル（400 フィート）以上に飛ばしてはいけません。また、周囲に障害物のある場所に離れてください。

初期設定の高度制限を超えて飛行する場合、新しい高度制限を設定するために、免責条項のプロンプトに同意しなくてはなりません。新しい高度制限が設定された場合、フライト遠隔操作データおよび高度制限変更は DJI が指定するサーバーにアップロードおよび保管されることを理解のうえ同意しなくてはなりません。

## サポートポリシー

当社はこの製品を使うことによって起こりえる事故、怪我または損害について直接的、間接的問わず一切の責任を負いません。



\* 「使い方・操作ミスなどによる破損、紛失」、「修理跡・改造跡がある場合」は対象外。

DJI サポート :  
<http://www.dji.com/support>

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。  
<http://www.dji.com/jp/product/matrice100>

If you have any questions about this document, please contact DJI by  
sending an email to [DocSupport@dji.com](mailto:DocSupport@dji.com).

MATRICE は DJI の商標です。  
Copyright © 2017 DJI All Rights Reserved.

YC.BZ.S00210.04



Printed in China.